



**問** 村政運営の基本方針

**答** 第5次総合計画の具体化・推進

新国会 舛井 文夫 議員

議員 村政運営の基本方針は、総合政策部長 村政運営の指針は第5次総合計画であり、その着実な実行である。

総括として、初年度で試行的に実施したため、評価方法や視点について総合計画審議会委員からは、不十分であったとの厳しい指摘を受け、今後さらなる精度の向上を図りたい。



山田村長

さらに政策施策評価の結果につい

ても、村民と十分に情報の共有を図りたい。

議員 山田村政がスタートして半年が経過したが、村長として村政の基本方針は。

村長 基本的には第5次総合計画を推進する。総合計画は10年間の計画であり、計画策定には多くの村民が参画しており、各分野とも村の基本的な計画である。私の任期は4年間であり、私の目指すまちづくりを推進するため、総合計画をベースにさらに私の考える施策を推進したい。

議員 第4次総合計画では、各論に具体的な計画が入っていたが、第5次総合計画では、抽象的で具体的な施策がないと、この議場の中でも議論した経過がある。

潜在的可能性（ポテンシャル）を

まちづくりにどのように生かすかが問われている。

具体的には、区画整理事業であり、舟石川近隣公園の姿も見えてきたが、この事業の立ち上げについては、地主の合意形成、関係機関の協議、地元での説明会など、当時の役場職員は大変な苦労と汗を流したと思う。どこの市町村の首長や職員も持続可能なまちづくりに努力している。この立ち上げの苦労からすると、現在の役場職員と比較した場合、苦労や汗をかいていない印象を受けるので、原点に戻って知恵や汗をかい



舟石川近隣公園

てもらいたい。

**問** 村発足60周年記念事業は

**答** アーカイブ事業を検討する

議員 村発足60周年記念事業の考えは。

総合政策部長 昭和30年3月末に石神村と村松村が合併して東海村が発足し、平成27年3月末に60周年を迎える。人間でいえば還暦のお祝いに当たることから庁内でも記念事業の開催を検討したが、これまでのように出席者が限られた1日間だけの式典でなく、もっと多くの村民の心に響く行事にすべきとの意見が多く出された。平成27年3月末には、本村の名称と深いかわりを持つ東海中学校の新校舎の完成式と兼ねて、記念事業にふさわしい内容にしたい。

歴史資料の収集保存については、専門家を含めて多くの村民の参画を得ながら、収集と保存を行う「アーカイブ事業」を検討したい。

村長 大事なことなので、後世にきちんと残せるようにしたい。